

研究室配属

[M4-70089T1]

1 ユニットの概要

医学部学生の研究マインドの涵養を目的として、研究室の一員として研究プロジェクトに参加し、分析的・批判的思考、科学的手法の原理、医学研究の手法等を学ぶ。

第3学年「医療プロフェッショナリズムⅢ」での学びを土台に、医学研究について理解を深める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技能（診療の実践）
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- ・ 医学研究の重要性、医師・研究者の活動について理解し、説明することができる（①②⑥）
- ・ 研究室の一員として研究プロジェクトを実践し、その内容を説明することができる（①②⑥）

4 学 習 方 略

第4学年開始時に研究室配属を行い、研究プロジェクトに参加する。

実施内容・時期は研究室に一任とするが、各種実験・検査補助、データ整理、カンファレンス等に3か月程は参加することを目安とする。

第3学年までにスチューデント・リサーチャー・プログラムに参加した場合、本人からの申請がない限り改めての配属は行わず、プログラムで体験した内容をレポートとしてまとめ評価する。

5 事前事後学修について

研究に参加する前に、APRIN eラーニングプログラム（eAPRIN）研究者向け基本コースを修了すること。その他、配属された研究室に関連する内容及び略語を含む専門用語を再度確認しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】1時限あたり 予習：30分、復習：30分

6 課題（課題やレポート等）に関するフィードバック

担当教員より適宜フィードバックを行う。

7 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	学習態度（実習態度、身だしなみ、レポート提出状況）	態度・技能	
	レポート（理解力、思考力、説明能力）	知識	
総括的评价	実習（態度、身だしなみ含む）	技能・態度	10%
	レポート	知識	90%
		合計	100%

- ・ 年度末にA4サイズ1枚程度のレポートを提出する。
レポートは各研究室・プロジェクトの評価基準に従って評価される。
- ・ 研究室からの評価、レポート内容、参加状況も踏まえ学年主任が最終的に判断する。

8 実習スケジュール

担当教員と協議の上決定

9 教 育 担 当 者

責任者 : 第4学年主任

担当教員 : 各研究室担当教員（詳細は研究室配属募集一覧を参照）

10 参考図書・文献

全体での資料は特になし。各研究室で提示されたものを参照すること。

研究室配属 募集一覧

研究室名	責任者（敬称略）	受入人数	研究概要
生物学	東海林 博樹	1	発生生物学、分子生物学関連
数学	飯田 安保	若干名	数学教育や統計教育に関する研究調査を行う
医療人文学	本田 康二郎	4～5	医療倫理の最新事例について議論し、共同してレポートを作成する。
体育学	津田 龍佑	4～5	健康科学・スポーツ科学分野、論文抄読（1～2週に1回程度）
解剖学Ⅰ	八田 稔久	4	妊娠中の感染が胎児に及ぼす影響に関する研究、組織透明化と画像解析に関する技術開発
生理学Ⅰ	小野 宗範	制限無し	神経科学実験
生理学Ⅱ	谷田 守	3	循環生理学の基礎実験（動物や細胞を用いる実験やコンピューターシミュレーション）
生化学Ⅰ	逆井 良	3	抗がん剤等によるゲノム損傷と細胞応答の解析
生化学Ⅱ	池田 崇之	1	未定
薬理学	益岡 尚由	2～3	未定
臨床病理学	山田 杜亮	2～3	人体病理学および動物モデルを中心とした実験病理学
病理学Ⅰ	清川 悦子	2	がんの転移機構の解明
病理学Ⅱ	島崎 都	1	未定
微生物学	樋口 雅也	4	未定
免疫学	小内 伸幸	4	がん及び炎症性疾患における免疫細胞動態の解析
医動物学	村上 学	2	感染症（寄生虫や衛生動物）の検査、研究など
衛生学	櫻井 勝	2	日常生活の疑問を研究につなげるための方法論、産業保健・環境保健分野の疾病予防に関する調査研究
公衆衛生学	西野 善一	3	未定
法医学	水上 創	2	未定（病理組織を用いた診断的研究を予定） 法医学の選択を希望する学生は希望調査の前に要面談
医学教育学	堀 有行	3～4	医療面接を用いた臨床実習・初期研修医用学習プログラムの構築
医学教育学	西川 正志	3～4（複数人希望、増減に対応できます）	他大学や地域との関わりにおける多職種連携教育プログラムの構築と実践
循環器内科学	土谷 武嗣	2	未定
消化器内科学	水腰 英四郎	2	学生の希望を聞いて決定する
腎臓内科学	古市 賢吾	4	糖尿病関連腎臓病の画像解析、ネフローゼ症候群の臨床研究、ループス腎炎の動物実験、腹膜透析関連の臨床研究
糖尿病・内分泌内科学	熊代 尚記	2	①新しい血糖自己測定器におけるメンター機能およびスマホアプリケーションの食事療法、治療満足度への影響、及び、②本研究におけるエントリー不可患者の背景因子に関する後方視的観察研究

研究室配属 募集一覧

研究室名	責任者（敬称略）	受入人数	研究概要
血液免疫内科学	正木 康史	1	未定
脳神経内科学	朝比奈 正人	1	・脳梗塞患者における脳微小出血の特徴と危険因子の検討 ・脳梗塞急性期患者における自律神経機能障害に関する研究 ・脳梗塞患者における睡眠関連疾患に関する検討 ・パーキンソン病患者の骨折の危険因子についての検討 ・自己免疫性脳炎における認知機能障害の臨床的特徴の検討 ・特発性後天性全身性無汗症の受診行動に関する研究
臨床感染症学	飯沼 由嗣	2	臨床分離病原微生物（主に細菌）の遺伝子解析
高齢医学	大黒 正志	3	未定
精神神経科学	上原 隆	2	統合失調症と自閉症の脳代謝イメージングによる比較 認知症のBPSDと介護者の性格に関する研究
心臓血管外科学	高野 環	3	未定
呼吸器外科学	浦本 秀隆	1	未定
一般・消化器外科学	高村 博之	3	臨床データの解析研究
整形外科	兼氏 歩	2	臨床データの解析
脳神経外科学	林 康彦	3	未定
形成外科学	宮永 亨	1	創傷治療
小児外科学	岡島 英明	1	未定
眼科学	佐々木 洋	3	眼光学の研究を、視能訓練士の指導で外来が終わってからの時間を希望します。週1～2回。
耳鼻咽喉科学	志賀 英明	5	下記のテーマの中から選択。テーマごとの定員は1名。 1. 小児睡眠時無呼吸症にアデノイド単独切除術は有効か？ 2. 口蓋裂の滲出性中耳炎に鼓膜チューブ留置術は有効か？ 3. 慢性鼻副鼻腔炎の嗅覚障害に手術は有効か？ 4. 嗅神経性嗅覚障害に脂肪幹細胞移植は有効か？ 5. 原因不明嗅覚障害の診断にVSRADは有効か？
頭頸部外科学	北村 守正	1	未定
皮膚科学	清水 晶	1	皮膚科領域の臨床研究
産科婦人科学	高倉 正博	1	産科婦人科診療に関する臨床研究
麻酔科学	高橋 完	2	1. 心臓血管外科手術患者における術前検査データと予後解析 2. 輪状甲状靱帯穿刺カニューレの換気性能 3. 気管挿管デバイスの形態学的比較・検討
リハビリテーション医学	松下 功	2	未定
救急医学	秋富 慎司	2	能登半島地震の病院対応の調査研究
地域医療学	笠巻 祐二	3	未定
顎口腔外科学	中野 旬之	1～2	未定
再生医療学	下平 滋隆	1	再生医療を活用した先進医療技術を学ぶ

研究室配属 募集一覧

研究室名	責任者（敬称略）	受入人数	研究概要
乳腺外科	井口 雅史	1	未定
分子腫瘍研究分野	石垣 靖人	4	まず、実験や研究の進め方を身につける。本人の希望に応じて細胞治療の開発や遺伝子やデータからの疾患解明に参加する。
細胞医学研究分野	岩脇 隆夫	2	<研究期間> 3週間＋希望すれば追加で2週間 <研究内容> まず初めに各学生が興味のある疾患関連遺伝子を選択する。 選択した遺伝子をPCR等の手法を用いてクローニングする。 培養細胞に対して選択した遺伝子の発現を増減させた効果を解析する。 特定の疾患モデルマウスに対して選択した遺伝子の臓器別発現変化を解析する。 追加研究の内容については学生の希望に応じて期間中に決定する。 <参考論文> https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0891584923005415?via%3Dihub https://journals.physiology.org/doi/full/10.1152/ajprenal.00203.2024 <実施時期> 夏季休暇中を想定しているが相談して決めたいので当研究室への配属を検討している学生は 意思決定の前に担当教員（岩脇）<iwawaki【a】kanazawa-med.ac.jp>へ連絡の上必ず面談を行ってください。
蛋白質制御研究分野	田崎 隆史	1	未定
バイオ・デジタル応用研究分野	島崎 猛夫	1	新規再生医療技術開発
糖化制御研究分野	坂井 亜紀子	1	未定
ゲノム疾患研究分野	新井田 要	2	疾患遺伝子解析
iPS細胞応用医学研究分野	加藤 友久	2	未定
生体医工学研究分野	西園 啓文	1	ヒト生殖補助医療のための新規医療機器デバイスの開発と実用化研究
合計		127	※若干名、制限無し等の講座除く